

「第5回 リレーミーティング in 榎野川」 実施報告

開催日： 2008年9月27日(土)～28日(日)

開催地： 山口市周辺(山口県セミナーパーク・山口湾・山口ユースホステル・山口森林ふれあいセンター)

主催： やまぐち自然共生ネットワーク / 共催： 山口県・山口市

協力： 榎野川流域地域通貨連携促進検討協議会・山口中央森林組合・榎野川漁業協同組合
山口県漁業協同組合山口支店・市民プロデュース・山口観光コンベンション協会

参加者： 延べ74名

プログラム：

時間	9月27日(土)
	榎野川ミーティング
9:30	・山口県セミナーパーク(研修室102)前にて受付開始
10:00	・開会式(会長あいさつ・山口市長あいさつ・オリエンテーション)
10:15	・榎野川流域の取組みについて紹介(榎野川流域地域通貨連携促進検討協議会より)
11:00	・参加者による自己紹介
11:25	・昼食(セミナーパーク食堂)
	干潟再生事業にチャレンジ
12:00	・マイクロバスにて山口湾干潟に移動
12:30	・干潟耕うん開始、アサリの間引き、干潟観察
14:00	・干潟出発、セミナーパーク経由で山口駅に移動
	源流の碑見学
15:15	・源流の碑(お殿様)を見学(山口駅前)
15:55	・源流の碑(お姫様)を見学(荒谷ダム)
16:35	・山口ユースホステル着
	意見交換会
18:00	・夕食、大交流会開始(榎野川流域地域通貨連携促進検討協議会長より歓迎のことば)

時間	9月28日(日)
	榎野川流域の取組を体験
7:40	・山口ユースホステル出発
8:10	・四季の森にて手づくり事業実施
9:00	・地域通貨「フシノ」でお買い物(道の駅「仁保の郷」)
9:40	・山口森林ふれあいセンターにて受付開始(28日参加者)
	記念講演「川と文化」 講師:中原中也記念館館長 福田 百合子先生
10:00	・講演会、意見交換会 ・バンブーオーケストラ演奏会
	榎野川流域の海の幸、山の幸を堪能
12:00	・屋外にて昼食(アユの塩焼き、シジミ汁、ポンポラ飯、ナルトビエイ・ブラックバスのから揚げ)
13:00	・閉会セレモニー、解散
14:00	・セミナーパーク到着

それぞれの行事をふりかえて

< 9月27日(土) >

榎野川ミーティング 9:30~12:00

- ・山口県セミナーパークにて9:30からの受付には、東は尾道市、西は下関市から34名の参加者が集合。
- ・10:00からの開会式のあと、榎野川流域地域通貨連携促進検討協議会のメンバーが榎野川流域での取組みについて、パワーポイントでこれまでの経緯を紹介。
- ・2日間のスケジュールの説明のあと、参加者の自己紹介、全員でセミナーパーク内の食堂で昼食をとった。



干潟再生事業にチャレンジ 12:30~14:30

- ・12:00にセミナーパークの駐車場からマイクロバス2台に乗り込んで、約30分走ったのち、離れた榎野川河口にあたる山口湾の干潟に到着。
- ・長グツに履き替え、各自が用意されたスコップやクワを手にいざ干潟へ。
- ・あらかじめ指定された区画に、目印となるラインが引かれており、参加者はそのラインに沿ってスコップで干潟を掘り進んで「耕うん作業」を行った。
- ・干潟で耕うん作業は初めての体験という人も多く、最初はスコップやクワの扱いになじめず、なかなかまっすぐに掘り進めなかった人も、時間が経つに連れて次第にコツをつかみ、ゴカイや小魚を見つけて歓声をあげたり、別のグループが捕獲したカブトガニを観察したり、皆楽しそうに作業を行っていた。
- ・途中からは、ある程度成長したアサリを取って、別の場所へ移動させる作業(間引き)に精を出した。こうして干潟での1時間半はあっという間に経過、記念撮影を行ったのち、14:30には干潟を出発した。



源流の碑見学 14:30～16:30

- ・干潟での作業を終え、長グツを脱いだ一同は2台のバスに乗り込んで今度は榎野川を上流に向かって移動。榎野川流域地域通貨連携促進検討協議会のメンバーが今年8月に完成させた「源流の碑」第2号である大内人形“フシノのお殿様”が設置されているJR山口駅前に向かった。
- ・大内人形“お殿様”本体周りに描かれた山口の四季折々の風景の説明を受けた参加者は、後ろにまわったり、写真を撮ったり熱心に見入っていた。その一行の様子に気づいた駅周辺の観光客も興味深そうに眺める。
- ・15:30、今度は荒谷ダム上流に設置された「源流の碑」第1号大内人形“フシノのお姫様”のところへ移動。久しぶりの“お姫様”は完成後、1年半経過したこともあり、周囲の景色にすっかりとけ込み、頭の上にはうっすらコケが生えていた。ここでも大内人形をバックに全員で記念撮影。



意見交換会 18:00～22:00



- ・荒谷ダム出発から30分後、17:00に山口市宮野にある「やまぐちふれあい館」に到着した参加者は温泉で、今日1日の汗を流し、すぐそばの宿泊先の「山口ユースホステル」に徒歩で移動。
- ・18:00より交流会。まず榎野川流域地域通貨連携促進検討協議会の田村会長から歓迎のことば。祝杯のあと、参加者同士が互いに席を移動しながら、話題も二転三転。自然、環境、自分たちの活動、もろもろについて、夜が更けるのも忘れて大いに語り合った。

<9月28日(日) 7:40～14:00>

榎野川流域の取組を体験 7:40～9:30

- ・7:00にユースのオーナー自慢のフレンチ風オムレツの朝ごはんを堪能したのち、近くの「四季の森」に向かって、手づくり事業に参加。それぞれの木々のそばにプレート立てかける作業を行った。
- ・作業のあと、榎野川流域地域通貨連携促進検討協議会が発行している地域通貨「フシノ」を配布された参加者は道の駅「仁保の郷」に移動し、実際に地域通貨「フシノ」を使って地元の特産品などの買い物を楽しんだ。



記念講演「川と文化」 講師: 中原中也記念館館長 福田 百合子先生 10:00～11:50

- ・9:40より山口森林ふれあいセンターにて受付の記念講演会に参加。28日からの参加者とともに、10:00より、山口市出身で、榎野川とも縁の深い福田百合子先生の講演「川と文化」を聴く。
- ・参加者からの質問には丁寧に応じ、いつも笑顔を絶やさない福田先生のお人柄のオーラで、会場は終始和やかな雰囲気。
- ・講演のあとは地元のバンブーオーケストラによる演奏会。演奏だけではなく、各楽器の特徴や音色の紹介など癒し系満載の楽しい内容に会場の人たちも満足そうだった。



榎野川流域の海の幸、山の幸を堪能 12:00～13:00

- ・12:00からは会場の山口森林ふれあいセンターの敷地内での野外昼食会。午前中、演奏を披露したバンブーオーケストラのメンバーや講師の福田百合子先生も加わって大いに盛り上がる。
- ・メニューはアユの炭焼き、シジミの味噌汁、4種類のポンポラ飯(竹の筒を飯ごう代わりにした炊き込みご飯)、ナルトピエイとブラックバスのから揚げ、ミウガの天ぷら、栗ご飯のおむすびなど。お皿、箸、汁椀、ご飯茶碗は、この日のためにすべて竹でつくったお手製のもの。
- ・自然のままの食材、食器に参加者一同からは感嘆の声が上がり、たっぷり用意した味噌汁はほとんどなくなった。希望者には残ったご飯類をおむすびにして、お持ち帰りいただいた。
- ・13:00より閉会式。来年度のリレーミーティングの会場に予定された周防大島の担当者とのバトンタッチのセレモニーも行われた。
- ・すべての行事を終了し、最後に参加者、スタッフ全員で手をつないで輪になり、「ガンバロー！」のかけ声とともに、榎野川での2日間の日程は無事に幕を閉じた。

